

令和2年度沖縄総合事務局開発建設部コンプライアンス・ アドバイザリー委員会（第1回）の議事概要について

1. 日 時：令和2年11月27日（金） 10時00分～12時00分
2. 場 所：沖縄総合事務局4階 事業審査室
3. 委 員：委員長 照屋 兼一 （弁護士）
委員 小池 真由美 （公認会計士）
委員 小濱 武 （沖縄国際大学講師）
4. 議 事：コンプライアンス推進計画取り組み状況等の報告
 - ・年間の主な取り組み予定について
 - ・コンプライアンス推進計画の取り組み状況について
5. 各委員からの主なご意見等
 - 点検していない項目について、監査で指摘を受けた内容とは。
→点検しているものの、チェックリストに漏れがあり、管理の整理の仕方を指摘されたもの。
 - 指導員研修、インストラクター研修について、それぞれの人数また兼任している人の人数は。
→人数は即答できないが、指導員研修は管理職または課長職以上、インストラクター研修は課長補佐クラス以上。
 - ミーティングテーマはどこが作成するのか。何月頃からどのようなメンバーがどのような流れで作成するのか。テーマは毎回違うのか？
→地方整備局事例及び過去のテーマを参考に適正業務管理官で作成しており、毎回違うテーマで行っている。
 - 外部通報の窓口もあるのか。実績はあるのか。
→外部通報については、沖縄総合事務局総務部に通報窓口があり、窓口から担当部に連絡が入ることになる。
総務部を通じて車両の駐車に係る通報があり、嚴重注意した事例がある。
 - 発注者綱紀保持アンケート調査結果について、「知っている」以外に「実行しているか」等の記載があればいいのでは。
→今度検討。
 - 令和2年度コンプライアンス係長・係員研修アンケートについて受講者169名中167名提出されているが、全ての参加者に提出頂くことは可能か。また、その他ネガティブな回答「役立たない」「無回答」については理由を促すようなアンケート様式にして頂くといいのでは。
→参加者全員がアンケートを提出するように促すとともに、引き続き研修時間中に回答時間を設ける。また、「役立たない」等ネガティブな回答の理由を記載する等の様式を検討する。
 - 在宅勤務にあたっての取り組みや研修等あれば教えてほしい。
→取組としては、在宅勤務の開始時と終了時に報告を行わせている。
今後は更に勤務管理の方法を充実させていく。具体的には、一か月単位で報告させる事によって、マネージャーが評価コメント、アドバイ

スができる様な仕組みを考えている。職員の意識向上も期待され、新たなステップになると考えている。

- ストレスチェックについて、出先も含めて全事務所でも行っているか。受講率はどのくらいか。
→事務所も含めて行っている。受講率は改めて回答。

以上。